



題字：元本校書道教諭
坪井 宏(号 工鷹)先生書

第27回在京芸陽観音同窓会のご案内

第27回在京芸陽観音同窓会を左記の通り開催いたします。

記

日 時 平成25年10月5日(土曜日)

12時 受付開始

12時30分 同窓会開始(挨拶・事業報告・懇親会)

場 所 神戸大学東京六甲クラブ

〒100-10005

東京都千代田区丸の内3-1-11

帝劇(帝国劇場)ビル地下二階

電話 03(3211)2916

<http://home.kobe-u.com/tokyo/access/index.html>

会 費 六千円

出席確認 同封の郵便振替用紙により出席を確定させていただきます。

尚準備の都合上振込期限は9月14日(土)とさせていただきます。

また振り込み後9月20日(金)までに出席取り消しを当番幹事に連絡いただきます。

たら会費は返金いたします。

その他

今回は会費等の郵便振替用紙を広島二中卒並びに広島観音高校卒の皆さま約六〇〇名の方々にお送りしています。皆さまの周りで本案内が届いていない方がいらっしゃいましたら下記の当番幹事までご連絡ください。折り返し案内と振り込み用紙を送らせていただきます。クラスメート、同期、部活動の仲間など皆さまお誘い合わせの上ご参加ください。

地下鉄日比谷駅・有楽町駅 B3 出口すぐ、
JR 有楽町駅西側 5分



在京芸陽観音同窓会

会 長

松本 正 (広島二中 22回)

TEL 045-516-7315

E-mail: tadmatsu@c3-net.ne.jp

当番幹事

安達栄次郎 (広島観音 19回)

田中 義一 (広島観音 20回)

TEL 090-2308-4517

E-mail: yoshi.tanaka0812@gmail.com

志和木 薫 (広島観音 20回)

TEL 090-4457-2740

E-mail: k.shiwaki@jcom.home.ne.jp

* 2013年度 芸陽観音同窓会報 目次

同窓会総会案内	P.1
第26回在京芸陽観音同窓会開催報告	P.2
2013年度役員体制について・松本新会長挨拶	P.2
榎野副会長挨拶	P.3
瀧山新副会長挨拶・齊藤敏文新理事自己紹介	P.4

同期会だより	P.5 ~ P.6
お便り(近況その他)	P.6 ~ P.8
インフォメーション(芸陽観音ゴルフ会他)	P.8 ~ P.9
ゴルフフリー交遊録	P.9 ~ P.10
財務状況報告	P.10
会費納付リスト	P.11
会費納入について・編集後記・賛助広告	P.12

第26回在京芸陽観音同窓会開催報告

第26回当番幹事 内富 幸司
(広島観音18回)

第26回在京芸陽観音同窓会を、昨年10月21日(日)に新宿西口エステックビルAGORAにて開催しました。当日は、朝から秋晴の好天にも恵まれて、52名の参加者で、盛会にて行われました。

昨年は、母校も創立90周年という記念すべき年に、在京芸陽観音同窓会の当番幹事を引き受けることとなり、その光栄と緊張を感じながら、準備をし、開催することができました。卒業した年代は別々ながら、同じ学窓で学び、語り、多感な時代を過ごしたことは、歳月を経ていくつの年齢になっても、共感と感銘を共有することが

きます。こうして毎年秋に、在京にて開催され、旧交を温めることは、まことに素晴らしいことだと思います。

さて、同窓会は当日の午前11時45分から開催されまして、まずこの一年間でお亡くなりになられた会員6名の御霊に対して黙祷を捧げました。続きまして榎野弘二副会長(広島観音6回)から開会のご挨拶をいただきました。そして瀧山事務局担当理事(広島観音9回)より、2011年度の会計報告を受け、満場一致で承認されました。午後12時10分から、この在京同窓会を立ち上げ多大なる御尽力いただいたいます、松本正理理事(広島二中22回)より乾杯挨拶をいただき食懇談となりました。昨年は、8月5日に広島観音高校のOB合唱団が、東京の津田ホールで初めての東京公演が行われ、山上園子さん(広島観音30回)より感想の報告を

いただきました。年次を離れて、ゴルフ談義や近況報告など、各氏からスピーチをいただき、和気藹々のうちに進行することができました。2時間余りの時間があつという間に過ぎ、午後1時40分から校歌斉唱となり、二中の校歌から始まり、勇壮なる二中の校歌を先輩より賜り感動しました。そして観音高校の校歌を全員で4番まで高らかに歌い上げ、もう気持ちは一つとといった感じでした。続きまして、松本清高氏(広島観音18回)によりエールの交換となりました。元気で大きな声でのエール交換で、素晴らしいものでした。午後二時となり久保田裕二氏(広島観音18回)の閉会挨拶を以て同窓会の閉会となりました。

この在京芸陽観音同窓会が、これからも長く引き継がれて行くことを切に願ひ、禱とバトンの後輩の方々にお渡しします。



*写真提供：榎野 弘二 (広島観音6回)

在京芸陽観音同窓会の役員体制について

2012年10月21日開催の在京芸陽観音同窓会総会に於きまして以降の役員体制につき、左記の通り総会参加者のご承認をいただきましたので、ご報告します。

新会長

松本 正 (広島二中22期)

副会長

榎野弘二 (広島観音6回)

新副会長(事務局担当)

瀧山 昇 (広島観音9回)

理事

古田正雄 (広島観音14回)

理事

松本直和 (広島観音20回)

新理事

齋藤敏文 (広島観音23回)

なお、会長 西亀達夫 (広島二中9期) は2012年10月21日付けで退任となりました。

会長職を引き受けて



在京芸陽観音同窓会 会長
松本 正
(二中22期)

昭和62年秋、東京大手町に二同窓120名を集めて旗揚げしたのが、この会の発祥です。これ何度も口にしたのですが、当時二中の先輩方からは「同窓会をやるなあええが、二中だけにしてくれよ」との声も有ったのに、「それじゃ先はありませんや。観音に繋がらあ」と逆らったのでした。それから4半世紀、宿願叶って今は観音組の天下、よくぞここまで来た、と一人の感慨を持ちます。

二代目の会長だった西亀大先輩が引退された。誰かを会長にしなきゃ・・・発祥は二中だからということで役員現役の私に「お前どうだ?」私には勲三等に輝いた西亀さんのような社会的地位もないし学歴もないと断った。私に在るのはフアウンダーとしての自負と、会を作った責任だけである。しかし、逃げるつもりもない。会の名前にもある「芸陽高校」を体験した数少ない一人でもある。副会長二人(一人は事務局長兼任)が実質的な執行役をするという条件を飲んでもらえたので引き受けたのでした。

「御興は軽くてパーがいい」政界で聞いた言葉です。私はそれでいいと思っています。今さら二中組が口を出す必要はありません。但し会に関する全ての責任は持ちます。

魂の旋律に想う

副会長 榎野 弘二
(広島観音6回)

現代のベートーヴェン

「現代のベートーヴェン」と呼ばれる日本人を知っていますか？その人は佐村河内守（さむらこうち まもる）という作曲家で、1963年に被爆二世として広島・五日市町に生まれ、幼少の頃から母親による音楽の厳格なスパルタ教育を受けた。崇徳高等学校を卒業後、上京したが、音楽大学には進まず、独学で作曲を学んだ。

ところが17歳の頃から編頭痛や聴覚障害に悩み、35歳のとき聴覚を失って全聾となったが、耳の聴力を失いながら絶対音感を頼りに作曲を続けて2003年秋、交響曲第1番「HIROSHIMA」を書き上げた。

3月31日、佐村河内守を特集したNHKスペシャル「魂の旋律」音を失った作曲家」として、交響曲第1番「HIROSHIMA」の成功、

聴力を全く失った苦惱、東日本大震災の被災者へのピアノ曲「レクイエム」作曲に至る経緯などのドキュメントを見て、大いに感動したので、翌日、交響曲第1番「HIROSHIMA」(大友直人指揮東京交響楽団)のCDを購入した。この交響曲はマーラー、ブルックナー、ショスタコヴィチなど、ロマン派シンフォニストの系譜を受け継ぎ、特に私の大好きなマーラーの交響曲第6番「悲劇的」や交響曲第9番などに類似しているようだ。また、この魂の旋律の背後には「苦悩を突き抜けて歓喜にいたれ」という、運命への飽くことなきベートーヴェンのなテーマも潜んでいるように思う。



写真1 スタンディング・オペレーションに応える佐村河内 守さん 2013年4月27日NHKテレビ 榎野 弘二撮影

をテーマに第1楽章が「運命」、第2楽章が「絶望」、第3楽章が「希望」とコメントしている。各楽章ともに魂の旋律に溢れた壮大なスケールで強く胸を打つ、まさに奇跡の交響曲なのだ。

「ヒロシマは、過去の歴史ではない。二度と過ちを繰り返さない」と誓った私たちは、いま現在、ふたたび悲劇をくり返している。佐村河内守さんの交響曲第1番「HIROSHIMA」は、戦後の最高の鎮魂曲であり、未来への予感をはらんだ交響曲である。これは日本の音楽界が世界に発信する魂の交響曲なのだ」と、五木寛之(作家)は述べている。

で、どちらかといえば、広島は遠い存在になりつつあるようだ。

とはいえ、毎年8月6日になると、心痛む心境となり、心静かに祈る一日であったが、喜寿になったことも踏まえて、今年こそ8月6日の広島平和記念式典に参加することにした。忘れられない被爆体験の記憶を胸に秘めながら、原爆ドームや原爆死没者慰霊碑の前で犠牲者への祈りや核兵器廃絶への期待など、心から被爆者の気持ちを表すことにした。

話変わって、5月20日、韓国の有力紙・中央日報が、1945年8月の広島・長崎への原爆投下について「神の懲罰」などと表現したコラムを掲載し、ソウルの日本大使館などが抗議したニュースは衝撃的であった。同紙は27日付の紙面で、「原爆犠牲者と遺族を含め、心に傷を負った人々に遺憾の意を申し上げる」とする一文を掲載し、遺憾の意を表明した。

原爆投下から68年が過ぎた。私は命の危険にさらされた被爆者として、これまで生き延びてきたが、決して「ノーモア・ヒロシマ」のスローガンを死語にはしたくないし、原爆の悲惨さの事実を風化させてはならないと思う。

忘れられない被爆体験の記憶を確かめながら、「残された短い人生ではあるけれど、被爆者たちが連帯し、苦しみや悲しみを社会に伝えて、人々の意識の変化につなげるような努力をするなど、核兵器廃絶や被爆者支援のために、今こそ何か積極的な活動をすべきではないか」と思案し、自問自答している。

忘れられない記憶

交響曲第1番「HIROSHIMA」のCDは何度も聴いているが、忘れられない記憶である被爆体験を連想しながら、いつも聴く度に涙を禁じ得なかった。

思い起こせば、68年前の1945年8月6日、9歳の私が広島・上天満町の自宅で被爆した記憶は、今でも鮮やかに蘇ってくる。家屋の下敷きとなり重傷を負い、九死に一生を得た被爆体験は語りたくないが、高等学校卒業後から大学、大学院、社会人、リタイアへと東京に住み続けたの

しかし、韓国には反日感情や活動があるとはいえ、何故こうしたコラムを書いたのか？いくら遺憾の意を表明したとしても、私はコラムニストの発想、非常識、歴史認識に驚くとともに、大いに疑問が残った。こうした事例から判断しても、核兵器廃絶の実現は、まだまだ遠いようだ。

近い将来、この奇跡の交響曲がベルリン・フィルやウィーン・フィルなどで取り上げられて、世界的にも演奏される日の来ることを切望したい。

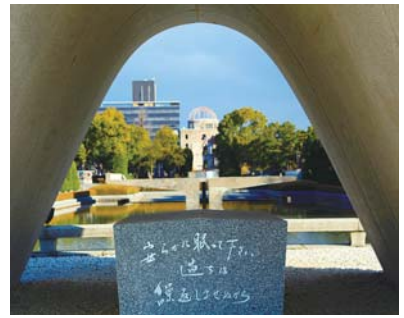


写真2 原爆死没者慰霊碑 榎野弘二撮影

同窓会あれこれ

副会長
瀧山 昇

(広島観音9回)

平成18年(2006年)に、在京芸陽会から在京芸陽観音同窓会に生まれ変わったときに、二中の奥窪先輩から事務局を引き継ぎましたが、昨年副会長を拝命しました。

この同窓会との係わりは1999年、還暦を迎えた年に始まりました。その年の6月に宮島で還暦を祝う同期会が開かれました。その時に、我々同期の在京の男性数人は時々会っていますよと女性の方に話をしたら、「男性だけで会うなんてずるい。私たちも入れて」と懇願され、東京での

再会を約束しました。その後さてどうしたものかと思案していた時、在京芸陽会からの誘いがありました。これ幸いと皆を誘って出席したのが、この会に出席した始まりでした。それ以来、9期生はこの会が同期の集まりになったように思います。在京の同期は20数名いますが、出席者は多いときで10名ほどで、全く関心のない人もいますし、一回出席したけどそれ以後来なくなつた人もいます。その人にとっては同期の者同士と会つても楽しくなかったのでしょう。

その後いつも同期の出席者が多いということで、理事に推挙され現在に至っています。

ご存知の通り当同窓会は、芸陽観音同窓会の会員の内、一部茨城県を含む東京都、神奈川県、千葉県及び埼玉県に在住で、50歳以上の方を対象に、平成18年(2006年)に旧在京芸陽会を引き継いで発足しました。今年度から対象年齢を45歳まで引き下げた関係で対象者は、二中が216名、観音が1、202名の合計約1、500名です。その中で会費を納めて頂いている方は約250名弱、総会に出席される方は毎年50〜60名です。数字的にいうと少々淋しい気がします。

当同窓会は、会報の発行と総会の開催という、二つの事業を行い会員の親睦を図っています。

同窓会という「同じ学校で学んだ」という繋がりで、親睦が図れることと思います。2011年度の本会報に松本正会長が書かれた「四半世紀を迎えたこの素晴らしい集い」の中に以下の文があります。

『こんな話、何かで読んだことがある。若い記者が高名な教授に取材に行き、「私先生の後輩です。同窓です。」同窓?それがどうした」と一喝されて、後の言葉は続かなかつた:。右の当会の会員状況から見るとこの教授の考えの人が多いかもしれないかと思えますが、私個人の気持ちからすると、「同窓です」と後輩に言われたら、「何年卒かね」、「担任の先生は誰だったかね」、「〇〇先生はいたかね」と色々繋がりが生じるのが自然と思えますが:。その高名な教授は自分の閉じた世界に余計な病原菌を持ち込まれたくなかつたのではないのでしょうか。皆さんは如何が考えますか?そうは言っても、毎年会報を送つてもレスポンスが今一で、この会報を何人の方が読んでくださるのかなと思えます。

総会への出席者も決して多

くはないと思います。総会の出席者を増やすには「総会を楽しく、面白くする」ことが必要とは分かつていても実現には至ってません。一つだけ確かなことは、総会に「一人でポツン」と出ても面白くないということ。従つて全く楽しくありません。一人で出席して色々な人の会話に入つていけるのは、とても社交的な性格の持ち主で、極少数だと思えます。そこで皆さんにはクラスメートや部活の仲間を誘つて出席することをお勧めします。私が在学していた頃は一学年200名足らずで大体全員の顔を知っていましたが、今はそうではなく同期の名簿を送つてもほとんど知らない人ばかりだそうです。それでも中には知っている人がいるかもしれません。そのように思つて居る方は当方に連絡頂ければ、お力になれると思います。

昨年、広島本部の総会と懇親会に出席しました。懇親会は創立90周年記念祝賀会を兼ねていましたが、出席者は来賓を含めて400名超でした。その中で幹事を務めた28回卒業生がなんと180名近くいて、会場に案内してくれました。年幹事の選出に苦労している当同窓会として考えさせられた一日でした。

自己紹介



齋藤 敏文 (広島観音23回)

私は昭和28年生(観音23回生)です。理事の中では最年少ですが、それでも今年還暦を迎えます。高校時代は生徒会活動に多少首を突っ込んだ(といつても保健委員長でしたが)こともあつてか、いろいろ首を突っ込む性分があつてか、ひよんなことから理事を拝命することとなりました。私は大学では都市計画関係のゼミに入り都市計画をやりたいと思つていたので、就職は森ビルという賃貸ビルを主業とする不動産会社に就職しました。最近では六本木ヒルズや表参道ヒルズ、また上海では当時としては世界一の高さのビルを手がけたディベロップパーです。

私は会社人生の後半は中国事業に携わり一度上海駐在(通算7年)を経験しました。上海で仕事有一段落したところで上海広島県人会に入りいろいろお付き合いを始めた所で帰任となり今度は東京広島

県人会に入って会員拡大副委員長として在京芸陽観音同窓会に毎年のように出向いて会員募集活動を行っていたところ同窓会の松本現会長から高校の同窓会活動のお手伝いを仰せつかった次第です。

微力ではありますが、同窓会活動の発展のお手伝いをしたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

同期会だより

**エージシユート
達成を祝う**

◆二中22期東京支部

松本 正(二中22期)

★東京二一(にいにい)会は昨年横浜港屋形船で傘寿を祝った。永年在京の集いを続けているが、出たい気持がありながら自らが店を持つたり、体調不良で叶わない友もいる。その一人が調布で料亭「男爵亭」の経営に係る宅明香澄君。もう一人は永年マスコミで活躍しながら脳梗塞の後遺症で出歩き難い餅原幸雄君。彼らも出席出来るには二人の住む調布で集るに如くはなし。

平成24年10月3日、その「男爵亭」で催した年次会はその狙いがキツカケだった。

★珍しい友との再会も嬉しかったが、予期せぬ慶事で更に盛り上がったのです。それは元税務マルサの男、石丸恵照君のエージシユート達成を祝ったのです。既にホールインワンは3回も成している彼はこの年7月26日・千葉カン川間で年齢81にして80というエージシユートを見事達成したのでした。先頃ジャンボ尾崎のそれがニュースになったようにプロでさえ難しいと言われる大記録を打ち立てた男が同期の友に居るのは快哉モノじゃございませんか。

★細長い卓を向かい合わせに座った面々は宅明君妹がおかみとしてもてなしてくれる美味な日本料理に舌鼓を打った。写真は予定者全員揃うまでと待ちながら遂にそれが叶わなかったので宴半ばに私の席からスナップしたモノしか残らなかつたというお粗末。



↑出席者▽順不同

宅明、餅原、上杉、亀井、石丸、岡田、佐藤(巨)、千代原、山田夫妻、松本、会友IIチバヨシコ、高木(弟)。

**観音高校(20回京浜地区)
チヨツと早い忘年会**

志和木 薫(広島観音20回)

京浜地区の仲間恒例の忘年会を行いました。京浜地区ですが、岡崎やら茨城からも馳せ参じた人も入れて、22名の参加者で盛り上がりました。みんな還暦を1〜2年超えて、ますます意気盛ん。仕事にゴルフに、旅行にと孫の相手をするがらとつても楽しそうでした。でも、一当たり近況を語り合ったあとは、「健康」の話になりますね。病気の講釈、薬の効用、ダイエツトの方法などなどの情報交換です。話題が途切れることなくあつという間に閉会となりました。いつまでも、この会が続くといいですね。



**◆広島観音20回
3年C組クラス会**

松本直和(広島観音20回)

快晴の10月20日、広島宮島口・宮島コーラルホテルにて開催されました。

担任の寺迫先生ご夫妻をはじめ18名が集まり旧交をかわしました。東京からは、私のほかに、栗栖さん、升野さんが参加され、思い出話に花が咲きました。私は仕事では4回ほど広島に出張しているのですが、全てとんぼ返りで高校も卒業以降見ておらず、ましてゆっくり話をする機会は初めての体験です。

13時に高校の正門で栗栖さん、横山さんと待ち合わせし44年ぶりに校門をくぐりました。土曜日でサッカー部や野

球部は対外試合、また3年生は模擬試験とあつてすれちがう生徒の数は少なかつたのですが、皆、私たちに挨拶をしてくれて私たちの時代にはなかつた新鮮さを感じました。校舎も建て直しや増築されたようで、当時よりもとてもきれいな感じで、思い出となつていたイメージとは随分違つた感じでした。売店だけは昔のままの様で、売っているのはうどんとカレー。

翌21日は自由解散でしたので久々に宮島にわたり厳島神社、昨年オンエアの平清盛館へ。観光客はとも多く、神社内で結婚式もあつて商店街も神社内も人がごつた返していました。残念ながらロープウェイは定期点検のため運休で頂上まで登れなかつたことが心残りでした。海外からの旅行者も多く中国からの団体を見ると、ここには尖閣問題は無縁に思えるようでした。

帰りに中学にもと思い、バスを庚午中町で降りて庚午中学へ向かいました。校内は無人でしたが、クラスメイトと語り合つた校門横の池は思つたより小さく雑草も生えてさびしい感じでした。一方で学校の周囲は住宅やマンションで太田川沿いは広い道路、浦島太郎です。

最後に平和公園を訪れ、また中学生の団体等来訪者の多

いこと、川沿いではポップスのストリートコンサートなどイベントも多彩でした。うろろしている間に時はあっという間で、バスセンターから空港に向かいました。今回の旅行で、去年就航したB787にぜひ搭乗したくて、広島発を19時にしたおかげでゆっくりと広島焼き、焼き牡蠣、あなご飯、広島を楽しめました。



お便り

近況 (メモ風日記より)

山本和雄 (広島観音3回)

① ネギの会パートII

昨年の有馬傘寿会に出席できなかつた一部の人の要望で今年二月の初旬、再度のネギの会傘寿の会が開かれた。昨年の平清盛ゆかりの福に因んだ「フクを食べる会」として舞台を広島に移しての宴会である。日頃介護の世話等で広島を離れられない数名を含む総勢17名のにぎやかな集いとなった。

「フグ酒」の酔いが廻ったせいか珍しく皆の話題は「死」をめぐる話に集中、早々と奥さんに遺書を認めた称する者、死の往生際はきれいにすべしと有名な「死に様」を纏めた記録文を配る者等が現れた。著名人の中で、往生際の極めて悪かった人の言葉が二、三見受けられ、皆の失笑を買う。結論として、我々は80年に亘り原爆の災禍、激動の昭和の時代を乗り越えてきた。今更医療による延命作業は全く不要、「ピンピンコロリ」が理想の「死に様」であるという意見が大半を占めた。先週の「サンデー毎日」に、岩見隆夫氏が最近ガン宣告を受けられたという記事が載っていた。私が感動したのは、緊急手術により全ての仕事を休止せざるを得ない今、長年執筆活動を続けてこられたこの「サンデー時評」だけは、病室で気軽に書き続けたいと、毎日の編集長に願ひ出られたとの氏

の記事である。下手な文章を苦に、これ以上の会報投稿は勘弁して欲しいと願っている凡人の私・・・今後の来し方を大いに反省させられた一日であった。

② 音楽会

昨年八月初旬、東京津田ホールの観音OB合唱団による「原爆追悼歌」―碑―を聞く。序奏のメロディの美しさ、合唱団のハーモニーのすばらしさに魅了された一刻であった。曲が最高潮に達した時私は私に呼びかける一つの声を聞いた・・・

―私が小学六年生で被爆した己妻の街は、三方が山で幸い原爆の災禍を免れたが、近所の遊び仲間(年上の中学生)の大半を失った。私を弟のように指導し可愛がってくれたYさんもその一人である。国のために尽くしたい」が口癖の彼は、早くから海軍兵学校(江田島)を志望、入学率の高い広島二中が第一関門であった。入学を祈願し、毎朝旭山神社(約一〇段の石段)に私を伴うのが日常の彼の日課となった。風雨を厭わず続けられ翌年見事入学を果たし得た。―が、半年後に死を迎える働き夢であった。死の二日前、病床の彼を見舞った時、全身やけどを負い白い包帯の中で彼の光る眼だけが何かを話しかけていた。―今、「カ

ズオさん、よいい！」毎朝五時に定まって私を起こしに来てくれた彼の声がする！

翌年の戦後、私は広島一中に入学したが、三年後の学医制変更を余儀なくされ、観音高校(旧二中)の一員として今日ここで、原爆の唄、彼の声を聞くことになった。これも何かの奇縁かと、しばし涙を禁じ得なかった。

今アメリカでオリバーストーン氏(映画監督)による「もう一つのアメリカ史」が話題を呼んでいる。(NHKのBS放送で十回シリーズを放映)そしてかつてのトルーマン大統領による原爆投下の愚挙を激しく批判している。(第三巻) 今どき文明国とは名ばかりで、銃規制一つすら満足に果たせない野蛮国アメリカ!ここにも何人かの良識人がいることを確信し、シリーズの後半を楽しみに待つ。昨今である。

③ 金婚式

私たちの金婚式は他に公表せず、家族のみでささやかに実施したいと願ってきた。過去、親戚のど派手な祝宴に招かれ、多大の負担を負った苦い経験故である。かくて11月初旬の記念日は、広島から呼び寄せた長男一家四人と東京の長女を加えた計七名による和やかな集いとなった。五年ぶりの邂逅は楽しさに時

を忘れ、孫たちの成長ぶりに驚かされる一刻であった。花の五月に先立ち妻と二人で旅した芭蕉を慕う東北、北陸の旅も印象深い。青葉若葉に染まる鶴岡の周平記念館、瀟洒なたたずまいはフアンの私に文学の香りを投げかけ、酒田の整然と棟を並べる山居倉庫は江戸町人文化の豪華さを教えてくれた。鳴子の七色に輝く温泉場は人生の垢を洗う格好の慰めの場でもあった。ラストの新潟村上の夕映えは雄大で、好物のサケ料理に思わず舌鼓を打った。

そして今は、子供達から贈られた貴重な宝物、アルマネオのドライバーを磨く毎日である。この魔法の杖で念願のエイジシュートの夢に挑戦したいと願っている。

最近拝読した天皇陛下と美智子妃殿下の「皇室五〇年の歩み」のテレビ放送に感銘を受ける。お二人の遂げられて来られた数々のご業績、ご人徳の深さに驚く毎日である。映像の美智子様、若き日の美しさは輝くばかりだ。奥深く備えられた聡明さ、貴賓は、世界一のファーストレイディでいらつしやる。五〇年間の激務に努力賞をとる陛下の言葉に「お側にお仕え出来たのが最高の幸せ」と目を輝かされたのが極めて印象深かった。このお幸せなお

二人に唯一残されたご心労、お世継ぎの問題につき、最後にあえて苦言を呈したい。

私的行動が出来ても一切の公務サポートができない雅子様、毅然として宮家との接触を控えられた正田家と異なり、時代錯誤も甚だしい外戚面の小和田一家・・・

英邁実直な皇太子様には、今や一刻も早いご決断で公務体制に臨まれ、ご両親を安堵させられるべきである。

東日本大震災の 災害地を見て来て

広島観音20回 田中 義一

2012年8月28日に、東日本大震災の被害地を訪問して来ました。一昨年3月11日から早や1年半が経過し、既に災害の面影もないかもしれませんが、このような大惨事を経験した世代として、是非自分の目で見ておきたいと強い願望を持ちました。そう思う前に、不謹慎かもしれませんが、趣味のゴルフを被災地でプレーすることで、宿泊や飲食費での間接的な支援が可能だと勝手な解釈で、被災地訪問の気持ち盛り上がりしました。3泊4日の日程で、その一日を、仙台の近辺を自分で被災地を訪問する予定で

した。しかし、幸運にも南三陸町で災害に遭われて、たまに仙台市で息子さんのアパートに避難されている方と連絡が取れましたので、その方に案内してもらいました。その方は、南三陸町で、釣具店と割烹料理店を経営されておりました。災害後は、自分の土地は、市が買い上げる為、同じ場所に戻れないし、同じ仕事は不可能だろうと思われ、新しい仕事を探されていました。以前からブログを立ち上げたり、コンピュータに興味があったようです。その関係で、知人の方が活動されているNPOに参加し、パソコン教室の手伝いを始められたようです。会社で取引のある団体を經由して知り合い、今回の災害地訪問の案内を快く引き受けてもらいました。ゴルフは、3日間プレーして来ました。中心地から僅かの距離にいいゴルフ場があるのと、プレー費が安くて、ビックリしました。

殺風景な景色が続きます。当時より減少はしているようですが、依然として、ガレキの山も残っており、復旧はこれからだと思ふ反面、皆さんの顔は明るい表情をされているので、心ではホッとしています。石巻市の仮設住宅地を見ましたが、800戸以上で広い敷地に建設されており、ちよつとした平屋の団地です。女川の高台にある病院でランチを取りましたが、話によれば、高台だけに安心して津波を見ていたら、波が山を伝わって後ろから押し寄せて、何十人の方が波に浚われたようです。また、北上川沿いにある大川小学校(写真)では、多くの小学生が犠牲になりましたが、学校の建物の低さと裏山との距離(今は建物が全て流されて何もないので、逃



げるなら裏山と見えませんが)及び過去に大きな津波に遭遇していない経験が、川の上流へと間違った避難先は理解できません。とはいえ、子供たちの悲痛な叫びが聞こえてくるようで、涙が出て来てきました。南三陸で、今は何もない土地だけの、案内された方の家があった場所に行きました。目の前は、松原公園で、以前は松林と広い公園で、子供達がサッカーや野球を、夏には盆踊りをする、市民の憩いの場所だったそうです。1960年に起きたチリ地震津波の石碑が倒れているのが、印象に残りました。

移動して、南三陸防災センターに行きましたが、観光バスで被災地を訪問されている方もいるようで、語り部と言われる方が同乗して、訪問する方々に大きな災害を伝える事を目的としていると聞き、やはりこの災害を後世に語り継ぐ必要があるだろうと感じました。本当に、一日いい体験をしました。ただ見ただけでなく、説明をしてもらい、状況を理解できたので、案内して頂いた方に感謝するとともに、亡くなられた多くの方の冥福を祈り、早く復興が終わり、本当の意味で、被災者の方全員が元の生活に戻れる日を祈っております。

人生の岐路

上杉 襄一(二中22回)

私は、本年6月30日、満83歳の誕生日を迎えました。これまででの人生を振り返ってみて、何度かの人生の岐路を歩んで参りました。

まず最初の岐路は、広島に原爆が投下された昭和20年8月6日の一日でした。当時私は広島二中三年生で、学徒動員され工場勤務の毎日でした。私達のクラスは、現在の三菱重工業広島製作所に配属となり、その疎開工場建設の為宮島線宮内駅近くの作業現場に通動していました。当時私の住居は東千田町でしたが、当日朝7時9分警戒警報が発令されましたので自宅待機7時31分警戒解除になったので、自宅を出て市電で紙屋町經由西広島へ、宮島線で宮内駅下車、畑の中の道を歩いて8時15分原爆の閃光に遭遇しましたが、距離も離れており外傷も火傷も負わずにすみました。この朝の警戒警報は、テニアン基地を発進した先発の米国気象観測機の広島侵入に対して発令されたもので、同機は原爆搭載機B29エノラゲイ宛「晴天で攻撃可能」と打電、間もなく退去したので警戒が解除になったとのことでした。肝心のエノラゲイ

の進入に対しては、何の警報も出ない状態で原爆投下になったとのこと。警戒警報に続いて空襲警報が発令されていたら、私は間違いなく市内に居て、場合によっては爆心地辺りを電車で通っていたかも知れなかったのです。

平成10年11月2日急性心筋梗塞を発症しましたが、湘南鎌倉病院に検査入院中だったので、偶々勤務されていた斎藤茂先生（カテーテル治療で世界の斎藤と言われる名医）に緊急治療を受け、命を取り留めました。当時毎月二〜三回ゴルフに出掛けていましたので、ゴルフ場で発症していたら生命の終わりになっていたと思います。

また、平成21年11月現在入居している老人ホームに転居しましたが、その準備の為に過労が重なり、胃がひどくただれた状態となり、湘南鎌倉病院で差し当たりの治療薬をもらい、一カ月後に胃カメラで検査を受けたところ、食道癌が見つかり、東海大学附属病院の幕内博康先生を紹介されました。幕内先生についての予備知識は全くありませんでしたが、食道癌治療の名医であるとなつて知りませんでした。先生の適切な治療により、転移・再発の心配もなく今日を迎えております。

まれ、いろいろお世話になった方々には感謝の念で一杯です。折角の幸運のお蔭で今日があるので、激動の世の中を今暫く生きてみたいと欲の出る日々です。

インフォメーション

芸陽観音ゴルフ会

世話役 山木 和雄
(広島観音3回)

大会50回目を飾る記念大会は名門、富士小山ゴルフクラブにて盛大に実施されました。今年のトピックス目玉は、何と云っても石丸氏のエイジシュート（83歳で81のスコア達成）の快挙でしょう。ご高齢をものともせず日頃の精進が実を結びました。会員一同、これを範にゴルフ道に邁進することを誓いました。もう一つの話題は4連覇が今一步で実現可能と思わせた田中氏の健闘、初登場ながら2度の優勝、最後は田中氏を押えての頑張りを見せられた、志和木氏。お二人のご活躍の秘伝を優勝の弁で華麗に締めて頂きましょう。



石丸氏

回	コース	優勝	準優勝	第3位	ベストグロス
46	ひととのや	志和木	石丸	久保田	森山 89
47	千葉梅郷	田中	和田	森山	森山 87
48	スカイウェイ	田中	山木	志和木	田中 90
49	裾野	田中	森山	山木	森山 80
50	富士小山	志和木	田中	森山	森山 86



なお、本50回大会を以て長年ユニークな賞状で全員を楽しませて頂いた松本正氏が退会されることとなりました。紙上を借り厚くお礼申し上げます。また、世話役の私も高齢（？）の為、来年以降若手にバトンタッチしますので、若い後輩の皆さん！ドシドシご参加期待しています。

優勝の談

初優勝から3連覇そして4連覇を逃して！



田中 義一
(広島観音 20回)

2004年第17回から参戦して、一昨年で18回参加し、最高位が2位入賞でした。調子が良くて、期待してプレーしても、何故か芸陽観音ゴルフコンペは、いいスコアが出ないので、優勝は諦めておりました。3年前の定年後に、ゴルフを真剣に取り組む姿勢となり、そのおかげで、スコアも年々良くなってきておりました。また、海外や遠方に出かけてプレーする機会も増えて、経験を積めるようになりました。たまたま、グアムのゴルフをフェースブックに掲載した際に、松本先輩から、

「海外でゴルフしてるなら日本ではチヨロイね。でも優勝に貴方の名前を見たことがない。」との激励の言葉を頂き、少し頑張らないといけない気持ちに変わってきました。

2012年2回目のコンペが、石丸先輩のホームコース（千葉カントリー・梅郷コース）で、前半は52と大叩きで、気持ちは諦めておりました。後半は、もう優勝は無理で、松本先輩への言い訳を考えながら、開き直りながら悔いのないプレーに努めて、45のスコアが出ました。当然、良くて5位くらいだと想定して、結果を見てびっくりでした。自分の名前が一番上に出ていて、最初は、何かの間違いでは？と思う程、信じられない気持ちでした。この初優勝は、松本先輩の激励があつて実現出来た事であり、本当に感謝しております。前半が悪いと諦めて後半はもつと悪くなるのが常です。2012年第1回が108だったのがいい例です。2012年第3回は、成田スカイウェイクラブでしたが、台風の影響で、急遽開催日が変更になりました。前回とは違った気持ちもあり、優勝を意識しながらも、今までとは違った余裕が出ていました。普通のプレーで90前後を出せば何とかなるかと思つていましたので、優勝の経験が大

きいのとライバルの不参加になつた台風のおかげだと思つています。

ここまで、2連覇しましたので、第四回の裾野カンツリー倶楽部で3連覇達成なるか？期待と不安が入り乱れておりました。90前後でのラウンドと意識しておりましたが、一打一打がとてもいいとは言えない状況で、17番まで同期の森山君と競つておりました。決定したのが、18番ホールのグリーン上です。森山君と私それぞれのパットを沈めたら、同じネットスコアでハンディーの少ない森山君の優勝となる緊張した場面です。お互いが緊張していましたが、先にパットをした森山君が、外してしまい、気持ちが悪になつた私のパットがカップに吸い込まれて、優勝出来ました。3連覇の達成です。

ただ、4連覇が掛かっていて、第五回の富士小山ゴルフクラブでは、同期の志和木君と最後の2ホール前まで競り合つて、負けましたが、残念であります。本当のいい一年でした。

昨年に3連覇出来た事は、松本先輩を初め諸先輩の支えと、同期の友人達との切磋琢磨のおかげだと思つて、非常に感謝しております。

芸陽観音ゴルフコンペがこ

うして長きに渡り、続けられているのも山木先輩のおかげです。本当の感謝をしております。これからも、皆様との「芸陽観音ゴルフコンペ」が続けられるように、盛り上げていきたいと思つております。また新しい方の参加も期待しております。本当に有難うございました。

芸陽観音ゴルフ会に参加して



志和木 薫 (広島観音 20回)

芸陽観音ゴルフ会に本年度から参加しました。志和木(観音20回)です。私より先輩として当ゴルフ会に参加している同期(観音20回)の諸氏がそれぞれ良い成績を残しているのは聞いていました。私も生活が落ち着いたらぜひ参加したいとかねがね、思つていました。やっと本年四月に七年間の地方暮らし(単身赴任生活)が終わり関東に戻ってきました。これを機にゴルフ会にさつそく参戦することになりました。参加意向を明らかにしたところ世話役の

山木さんからご丁寧な案内をいただきました。「気楽な仲間のゴルフ会」「ハンディ戦だが参加3回未満は新ペリア方式」など丁寧なご説明をいただきました。ただし、歴戦の猛者がそろつているのとこのどつとも「優勝」は期待していませんでした。ところが、幸運の女神と素敵な仲間、良い天候に恵まれていたのか、初参加の「ひととのヤカントリー」にて優勝することが出来きました。(スコアはとっても自慢できませんが新ペリアに救われたようです。ただただラッキーな初優勝でした。)

本来のハンディ戦に参戦し好成績を残すべく、本年は極力参加することとなりました。な、なんと春先の優勝のときに淡い期待をしていた「再度の優勝」が本年中に訪れてきました。それも第五回という記念大会でかつ初めてハンディーをもらった初戦でした。場所は「富士小山GC」、富士山が眺望できる素晴らしい景観のゴルフ場です。絶好の秋日和でした。富士山からの芝目がきつい、距離の長い難コースの中のプレーでした。なおかつ、メンバーは最強、かつ闘争心をくすぐる猛者達(20回期のライバル)です。

ステディなプレーで優勝常連組の松本くん、ベスグロ常連者の森山くん、本年度に、現時点で三回優勝しており年間最多優勝の四回目を目指している絶好調の田中くんです。プレーは第一ホール目から熾烈な戦いとなりました。とくに四連覇を狙っている田中くんとは1、2打差を争う形になり、まさにプロトリーナメントの最終日・最終組での優勝争いの様相を呈していました。勝負が決まったのは、第十七番ホール(ショートホール)です。ここで私の渾身のパットが決まり、パー3。勝負は決まりました。(でもこのコースのグリーンは難しい。富士山のまわりのゴルフ場はアンギュレーションより芝目です。とつとも読むのは難しい)この難コースでライバルを撃退でき、本年度二度目の優勝を飾ることができました。

本当に、ゴルフとは素晴らしいものですね。大自然の中の素晴らしい仲間とのプレー、堪能しました。次回からも積極的に参加します。来年度から世話人が持ち回りになるそうです。今まで長年世話役を務められ、当ゴルフ会に勧誘していただいた「山木」さんに感謝申し上げます。当ゴルフ会が長く発展して

いくことを祈願いたします。まだ参加していない諸氏には入会していただき、一緒にプレーをしたいと思つています。楽しみに待っています。

ゴルフフリー交友録

森山 康三(広島観音20回)

初めてゴルフ場でプレーしたのは、会社に入つて4年目の秋。先輩に連れられて大宮のゴルフ場でした。兄貴からもらったゴルフクラブで、2ヶ月3回練習場へ行っての本番でした。記憶では最初のハーフが63ストロークで、後半ハーフは覚えていません。初めてにしては筋がいいとおだてられ上々のスタートを切りました。なぜか兄貴のクラブの中に、ドライバーはなく3番ウッドでティショットをしていました。それでも他の人のドライバーよりも遠くへ飛ぶので二年位はドライバーを買わなかった。当時は会社の野球部の監督兼ファースト、四番打者で、野球の合間にゴルフをし、飛ばすことのみでなかなか一〇〇を切れない時期が二年間ありました。野球はメンバー集めやグラウンド確保でメンバーも減つて試合が組めなくなり、段々とゴル

フにのめり込んでいきましました。あれから36年、月二回平均でプレーしたとして八〇〇回以上、この五年間は早期退職したので多い年で年70回プレーしているのでは通算千回を超えているかも？しかし今でもゴルフの前日はなかなか寝付けないのはなぜでしょうか？「どうしてそんなにゴルフが好きなのか？」とよく他人に聞かれます。私の考えでは、単なるスポーツではない事。審判のいない自分で判断をする事。自分に対していかに厳しくできるかを試されている事。自然の中で雨、風、山川の中でプレーする事。そして見知らぬ人と一緒にプレーできる事。等いろいろな事が私にとってゴルフの魅力になっています。

私は、観音高校へは福岡から二年生の二学期に転校してきたので、高校で一年半と予備校時代一年と、合計二年半しか広島には住んでいません。大学で東京に行つて就職し、三十歳で結婚して東北の仙台へ転勤して、現地会社の設立に参加して移籍したので、広島とは縁の遠い暮らしを卒業後三十数年していました。2004年、会社再編で再び東京勤務になり、インターネットの同窓会サイトで観音高校を見つければ、卒業生名簿があるのを知り当時の初恋の人が今どこに居るのかを知りたくて、名簿を取り寄せたところ会報も一緒に送られてきて、その中に山木先輩のゴルフに対する愛情あふれる文とゴルフ会の案内があり、すぐに会への参加を希望するファックスを送ったのがキッカケでした。それからコンペには参加し始めました。同期仲間とのプライベートでも月一回でゴルフを楽しんでおります。

①西仙台カントリーで、左ドッグレッグのPAR5ほぼ直角に曲がっているホールで前の組は誰も見えません。私がドライバーで打つとコースなりにドロボーで同伴者からのナイスショットの声にいい気持ちでいましたら、突然コースの真ん中に前の組の人が走り出て来て「大変だ!!」。何とコーナー先で三打目を打とうとしていた女性の顔面に私のボールが直撃し救急車で病院へ運ばれました。幸いな事に鼻骨骨折ですみ40日間の入院と、彼女が国分町のバールのマダムで、休業補償で四百万円を保険で払いました。私の自己負担は0でした。

②東京に来て、関東不動産協会のゴルフコンペがスポーツ新聞社の主催であり、沼津のゴルフ場で知らない人と三人で緊張感のある中スタートし前半はパープレー三六、後半一オーバーの三七の七三、生涯ベストスコア、もちろんベスグロ賞で翌日の新聞に載るや、社内でのゴルフ仲間から電話・メールで大変でした。○バーディー一ボギーという内容でした。

③二年前、仙台の知人から、女子プロのトーナメントのプロアマ戦に一人欠員が出たので参加しないかと電話があり、もちろん参加する旨伝えると、女子プロは誰と一緒に回ると聞くと、「あんまり有名じゃない台湾の選手らしい」というので、期待しないで参加しました。当日は朝から大雨で、スタートでメンバーに挨拶をしてスタートホールへ。以前もプロアマ戦には参加したことがあり、ドライバーは女子プロと同じ位は飛ばす自信がありました。アマから打つて私もナイスショットで、雨の中220ヤード位でランは

がり、続いて女子プロが打つと、雨の中にもかかわらず、私のボールをはるかに50ヤード超えて飛んでいきましました。この女子は誰ですかと聞くと、日本語の通訳の人が「ヤニ・ツェン」です。去年世界のメジャーを二つ勝つています。(その年から二年間世界一位でした) 少年のような笑顔と、パーティーの時は何度も飲み物を取って来てくれた優しさに、大ファンになつてしまいました。私の携帯には彼女とのツーショットが入っています。

取り留めのない文章になりましたが、これからも一日でも長くゴルフを続けて、子供や孫と一緒にプレーできれば、そして願わくば石丸先輩のようにエイジシュートを見ながら今日も絨毯の上でバタフライを練習しています。最後はバットが入るかどうかわかりませんが、ではまたグリーンでお会いしましょう。

次回は 観音14回古田正雄様にお願います。

最後に、送られてきた同窓会名簿で真つ先にH組の欄の彼女の名前を探しましたが載っていません。まさかと思えば最後の物故者欄に彼女の名前を見つけた時は、思わず涙が止まりませんでした。・・・

合掌

在京芸陽観音同窓会 2011年度決算報告書(単位:円) 2012年3月31日

前年度繰越	325,582	
収入の部		
総会会費	354,000	59名
初年度維持会費	33,000	11口
年維持会費	185,000	1年分185口
	10,000	2年分5口
	12,000	3年分4口
寄附	10,000	
利息	2	
計	604,002	
支出の部		
総会関連費用	280,000	
会報印刷費	132,300	
振替手数料	27,500	
郵送費	46,390	
打合せ費用	29,879	
払い戻し	6,000	
その他(注)	24,943	
計	547,012	
次期繰越金	382,572	(前年度 325,582)
内訳		
普通預金	22,248	(12,264)
振替口座	349,270	(293,270)
現金	11,054	(20,048)
(注)その他		
複写・用紙代	2,896	
通信費	5,000	
封筒印刷代	10,500	
振替用紙印刷代	2,200	
贈礼金	4,347	
計	24,943	

以上 相違ありません
 観音16回卒業生 片岡元己 (印)

平成24年度会費納入者名簿

二中 東京都

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists members from Tokyo (二中).

二中 神奈川県

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists members from Kanagawa (二中).

二中 千葉県

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists members from Chiba (二中).

二中 埼玉県

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists members from Saitama (二中).

二中 山梨県

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists members from Yamanashi (二中).

※以下の方に寄付を頂きました

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists additional donors.

観音 東京都

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists members from Tokyo (観音).

観音 東京都

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists members from Tokyo (観音).

観音 埼玉県

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists members from Saitama (観音).

観音 神奈川県

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists members from Kanagawa (観音).

観音 千葉県

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists members from Chiba (観音).

観音 茨城県

Table with 3 columns: 回 (No.), 氏名 (Name), 氏名 (Name). Lists members from Ibaraki (観音).

● 会費納入について事務局からのお願い

同窓会の維持に是非！ご協力を。

毎年、会費を納めて頂いている皆様には改めてお礼申し上げます。

当会の運営は理事及び幹事の完全なボランティアで行われていますが財政は厳しい状況にあります。会運営の資金は皆様の会費が基になっております。

是非、当会に入会し継続して会費を納入して頂きたくお願い致します。

入会金は 1,000 円で、年会費は毎年 1,000 円です。従って、新しく入会される方は、**入会金と年会費を合わせて 2,000 円**をお納めください。

既に入会されている方で、平成 23 年度以降の会費を未納の方は、**3 年分の 3,000 円**を、平成 24 年度の会費を未納の方は **2 年分の 2,000 円**を、お納めくださいますようお願いいたします。

各位の会費納入状況に合わせた払込取扱票を同封しましたが、もし納入状況と異なる払込取扱票が入っていましたら、事務局までご連絡ください。

また、会費および総会費の払込の際は、なるべく **自動払込機 (ATM)** をご利用いただきたくお願いいたします。

事務局：瀧山 昇／電話：045-983-5992

◆ 編集後記 ◆

松本 直和 (広島観音 20 回)

今年も会報を編集発行する時期がやってきました。毎回、企画段階では読者の気持ちを引き付ける記事をといろいろ考えます。今回も寄稿頂いた各氏のご協力にありがたく厚く御礼申し上げます。話は変わりますが、今年の広島カープは去年と違って投手力が充実している一方で打線の成長が力ギだと春ごろには言われていました。今年こそは A クラスにアツプと期待していますが、残念ながら相変わらずの貧打線で、去年までは下に横浜がいたので最下位にならずに監督のイケイケが調子づくとうい感じです。去年よりも飛ぶ球なのに長打は少なくチャンスに打てない。(6 月時点では A クラスですが) しかしながらカープ応援団は毎試合熱心に応援を続けている、その姿に頭が下がる思いです。この春の理事会で同窓会総会の参加者をはじめ同会員の増加策を話し合いました。現役世代は思い出に浸るよりも、参加することで何かのメリットを期待するでしょう。また仕事や生活にせよ、余裕が持てる世代はそれなりに生活環境の中で居心地の良い時間を期待すると思います。それよりも、私たちが東京で同窓会の活動をしているんだということが情報発信できていないこと、要因があるかもしれないこと

広島カープも連勝しても中国新聞では大きく取り上げられるでしょうけど、全国紙ではスポーツ欄の下段にほんの 2 行程度です。スポーツ紙ではそれよりも AKB48 の総選挙が一面で、その方がニュースバリューがあります。予算が許せばもっと多くの在京卒業生の方々に会報をお送りしたいの存在を知っていただきたいのです。皆さん、在京芸陽観音同窓会会報を読まれている皆さん、ぜひ一度この同窓会に、同期会の延長として参加してみてください。また会員増加のためのいい情報発信やイベントがありましたら、当理事會までご一報をお願い致します。

世界各国の輸入ファブリック
美しい暮らしの創造をお手伝い



IONIA Ltd.
<http://www.ionia.co.jp/>

株式会社 イオニア

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-34-28-202
TEL 03-5728-2891 FAX 03-5728-2892

感動の誌面づくりをお手伝い。

<https://www.media-you.com>

学校 PTA 広報誌・同窓会報・会社広報
パンフレット・チラシ・封筒・カラー名刺
のデザイン・制作・きれいな印刷

有限会社 **メディアユー** 担当/浦野 政博
〒121-0813 東京都足立区竹の塚3丁目16番6号
TEL 050-3580-8178 FAX 03-5686-0232

横浜市原爆被災者の会
浜友の会 事務局長

松本 正



事務所 〒245-0053
横浜市戸塚区上矢部町 315
TEL/FAX 045-814-2914

企業、グループ、個人の広告募集中です！ 当会理事までご連絡ください。